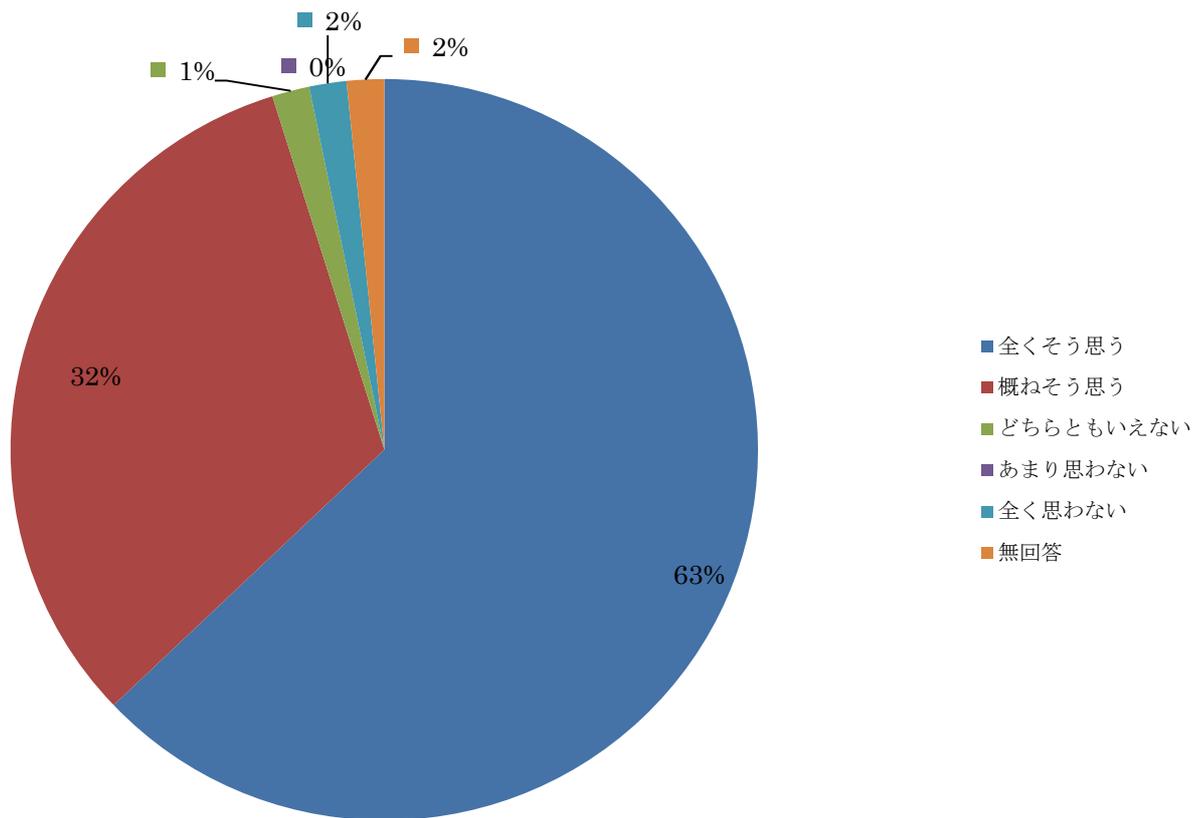
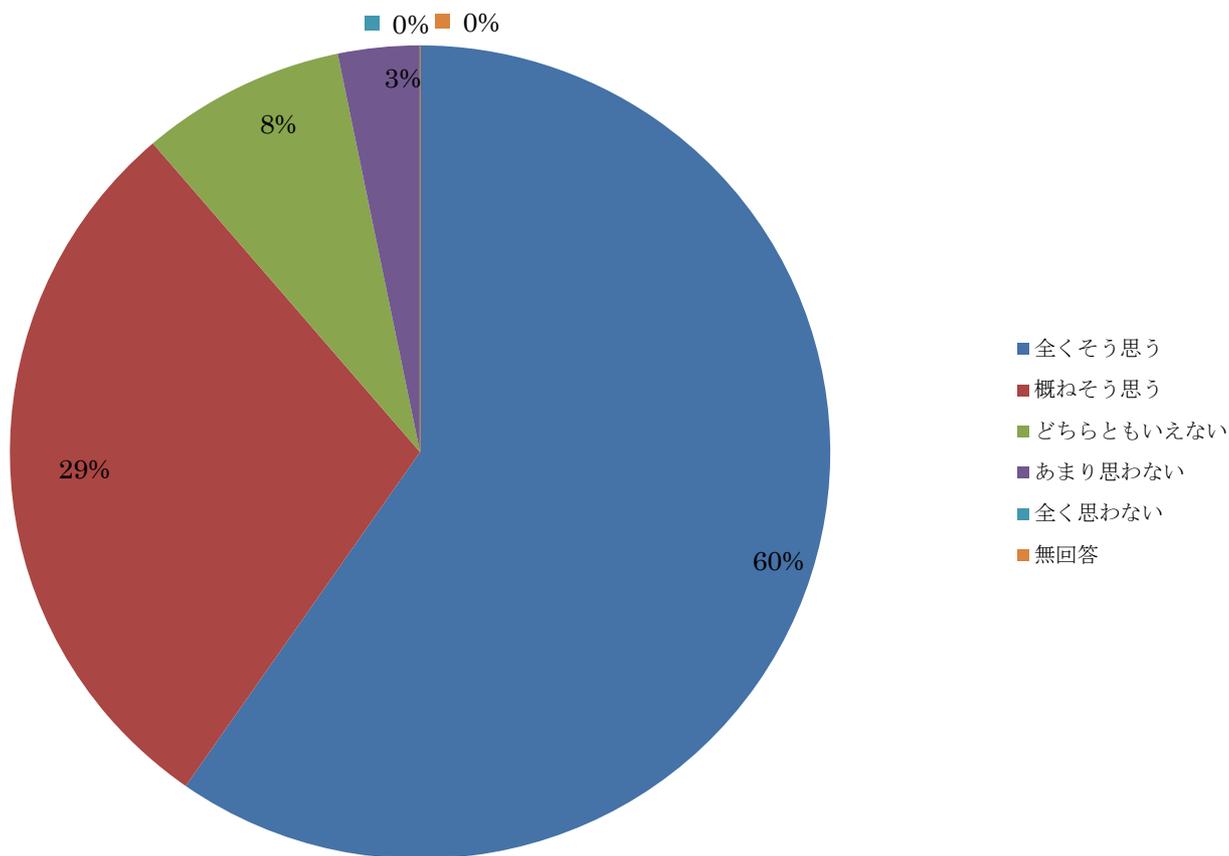


「命の教育」アンケート集計結果

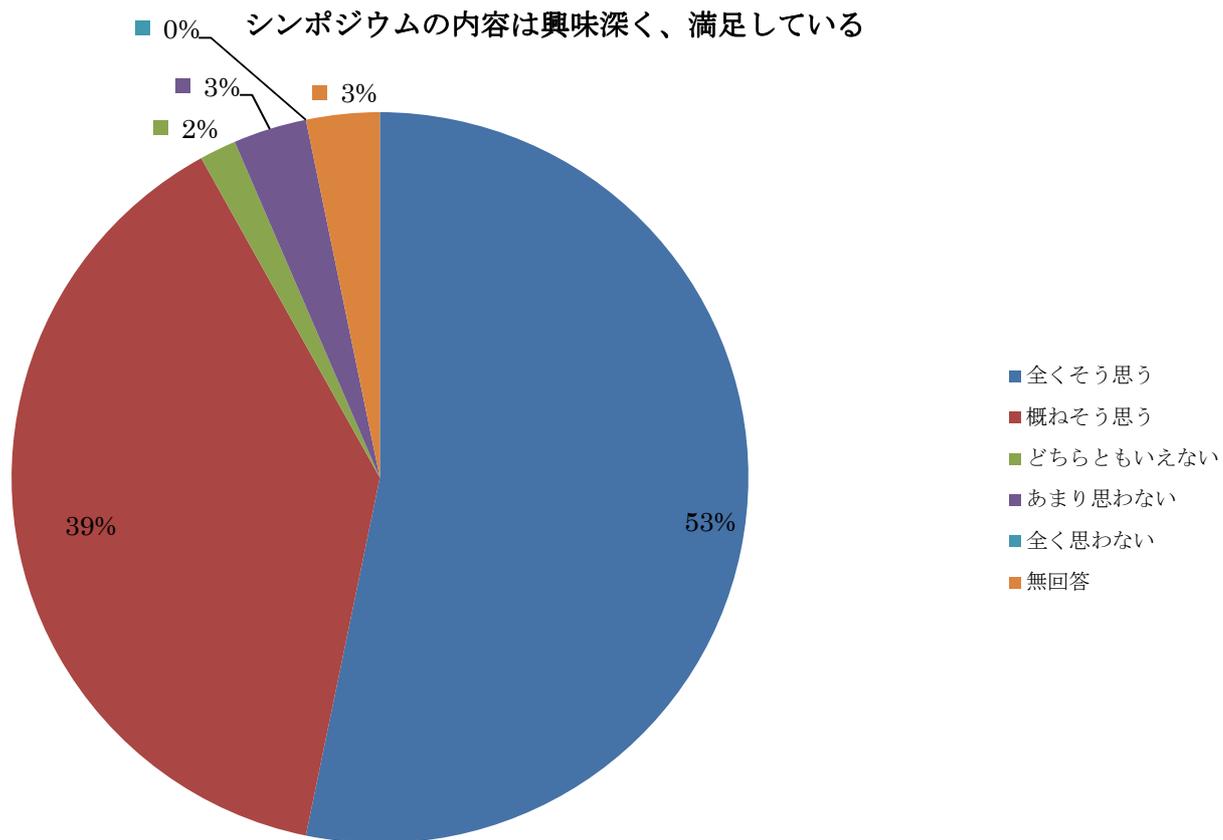
テーマ「自殺総合対策における『命の教育』は適切だった



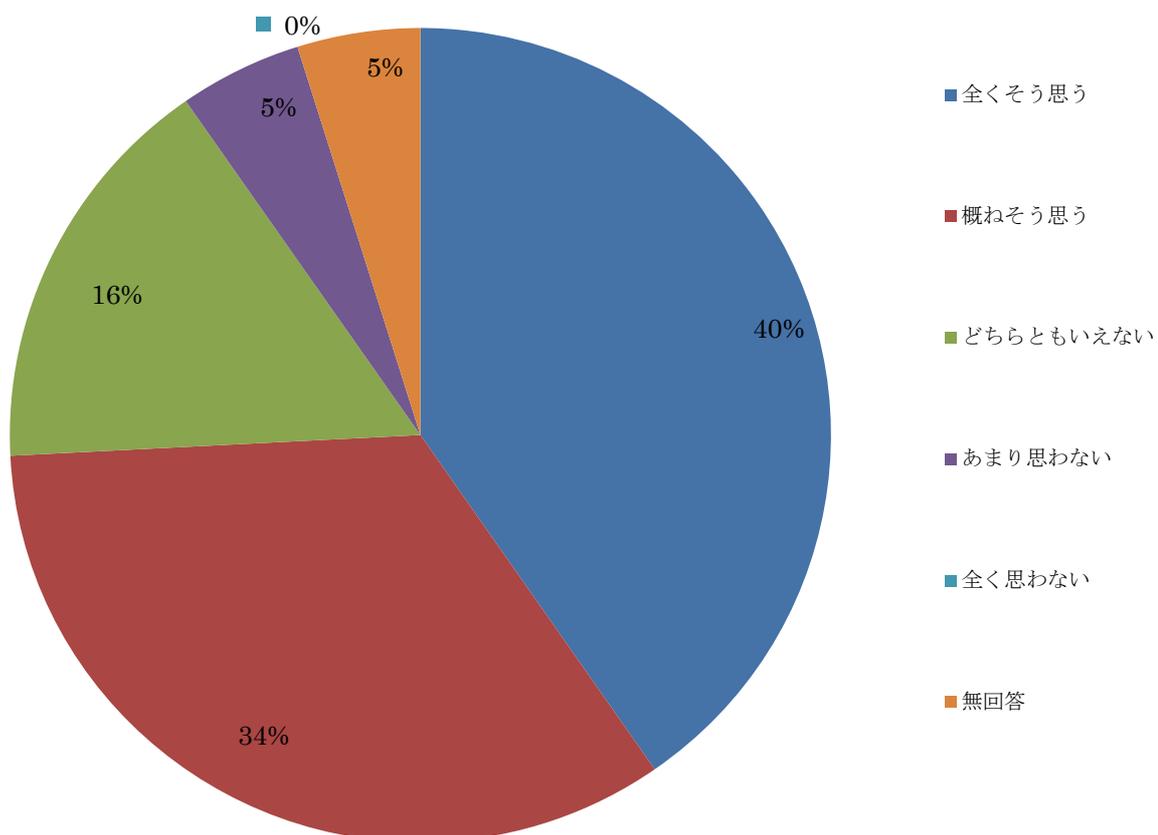
基調講演の内容は興味深く、満足している



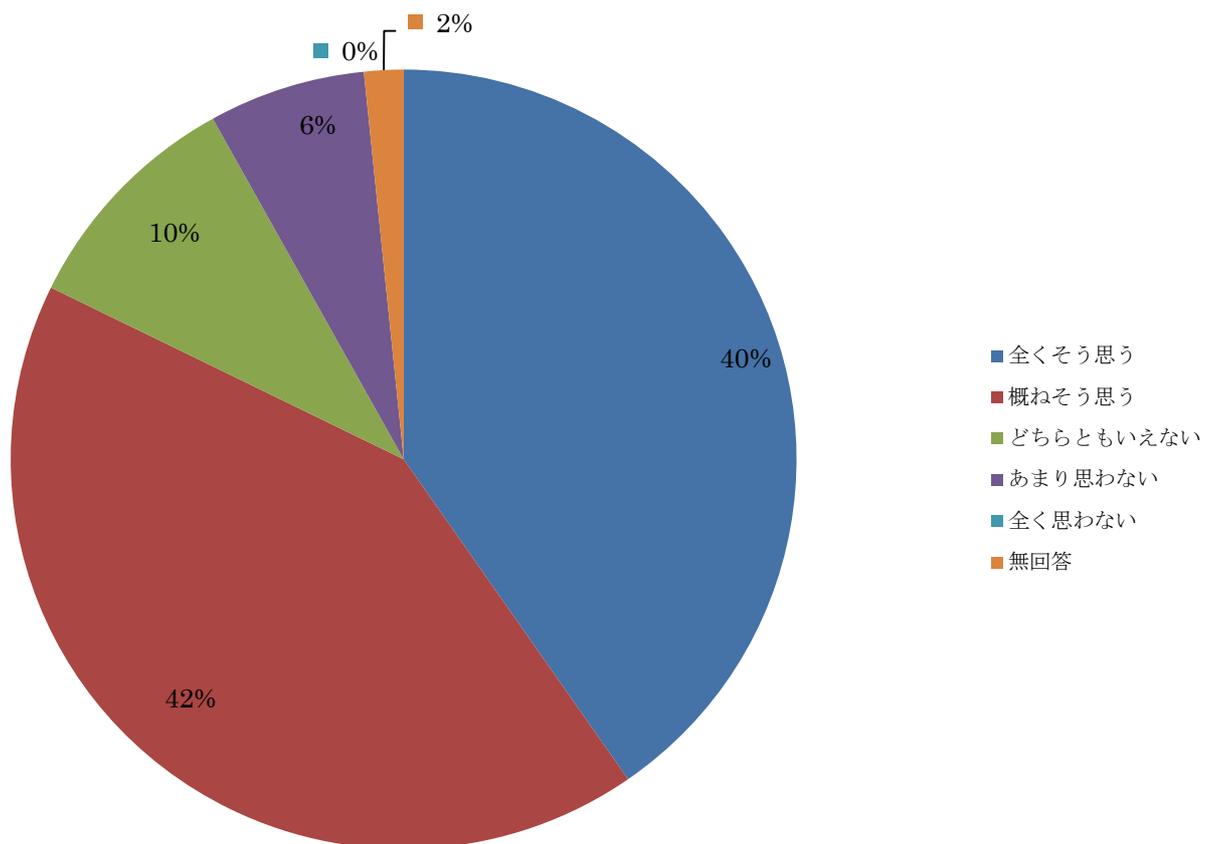
「命の教育」アンケート集計結果



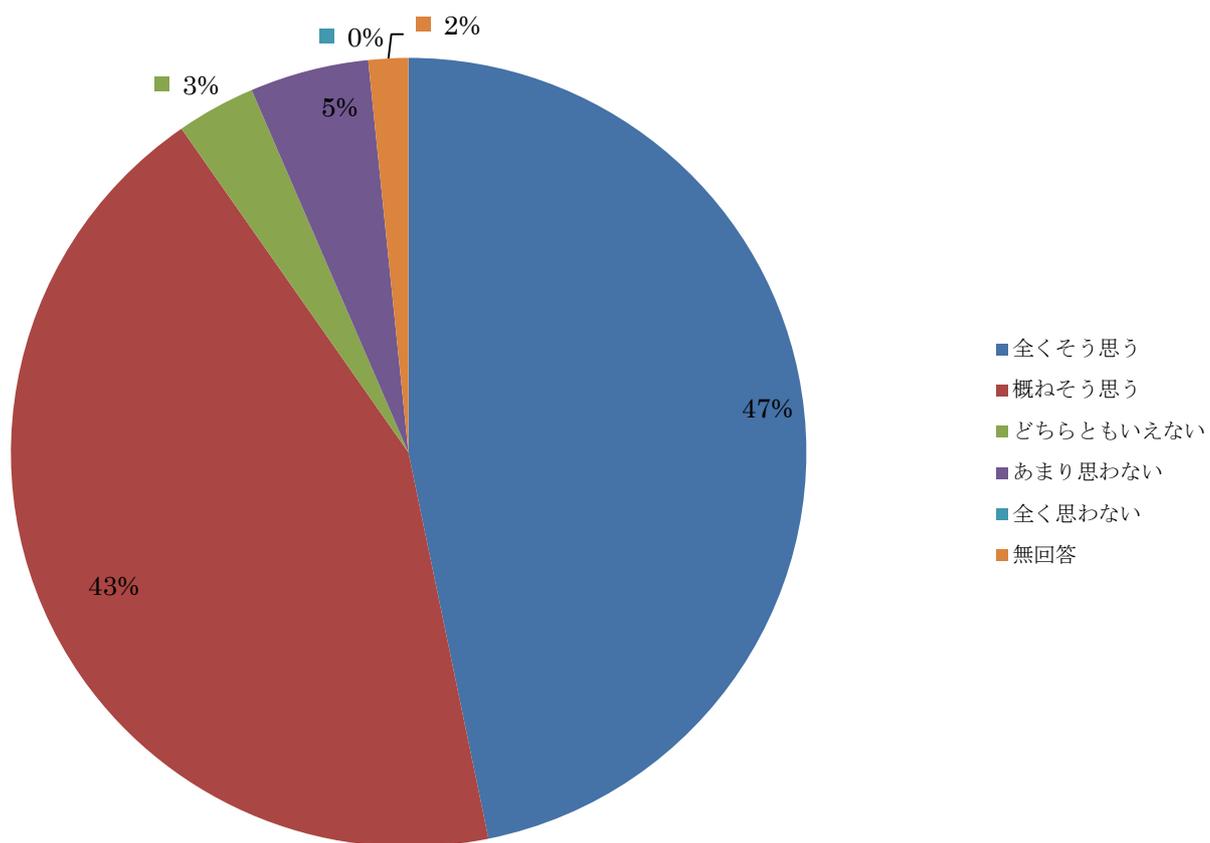
総括の内容は興味深く、満足している



シンポジウムの進め方は適切だった

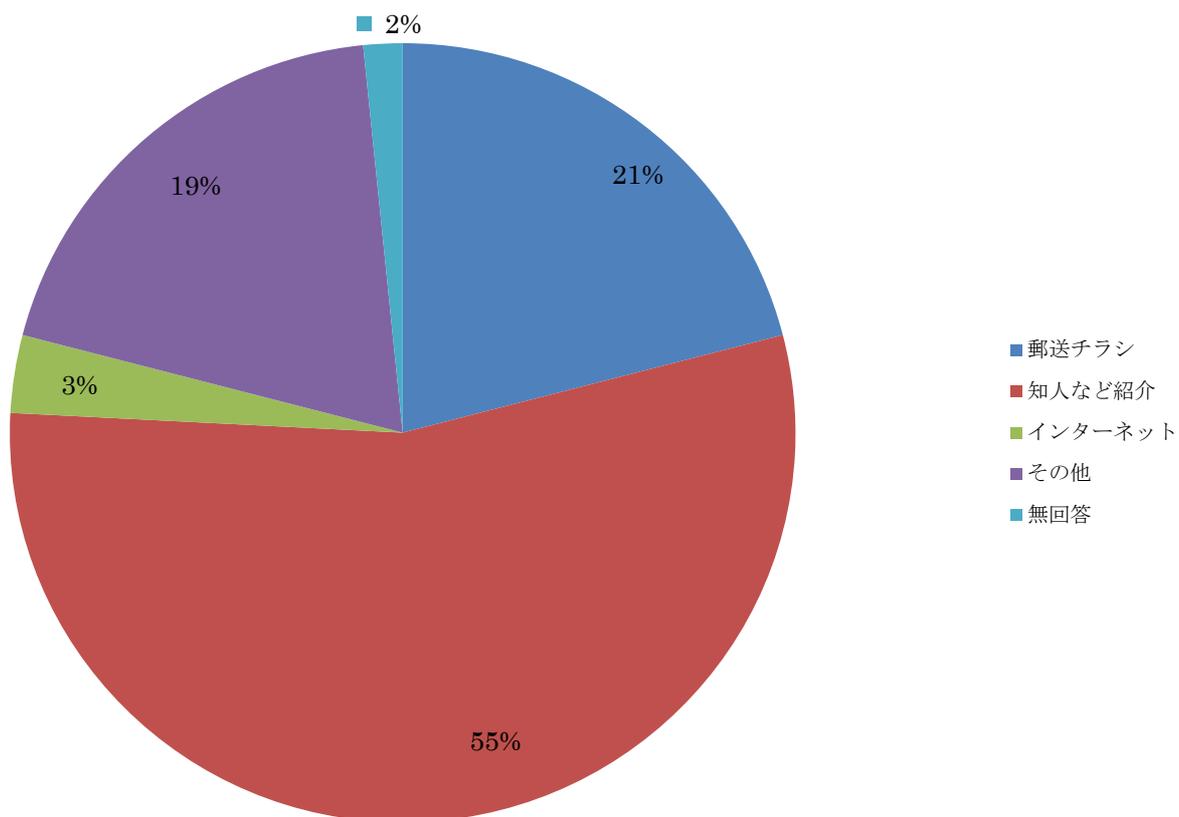


本シンポジウム全体の内容に満足している

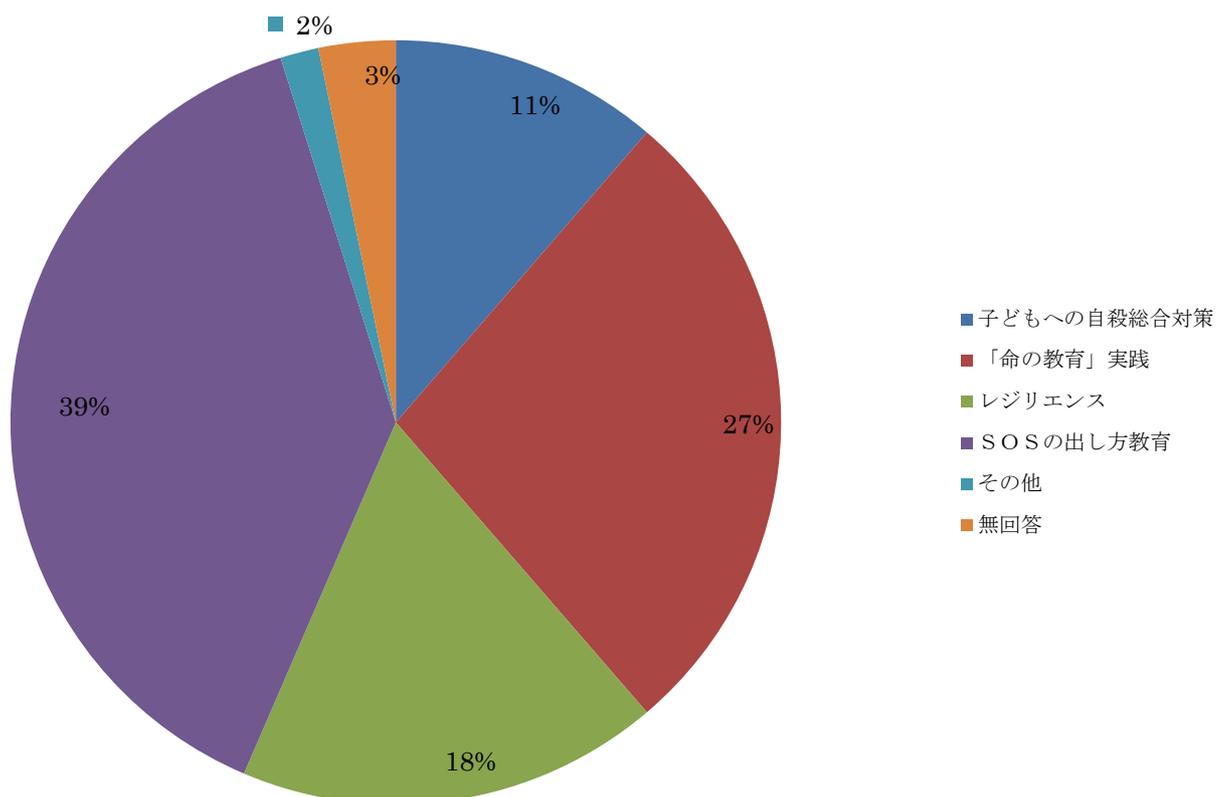


「命の教育」アンケート集計結果

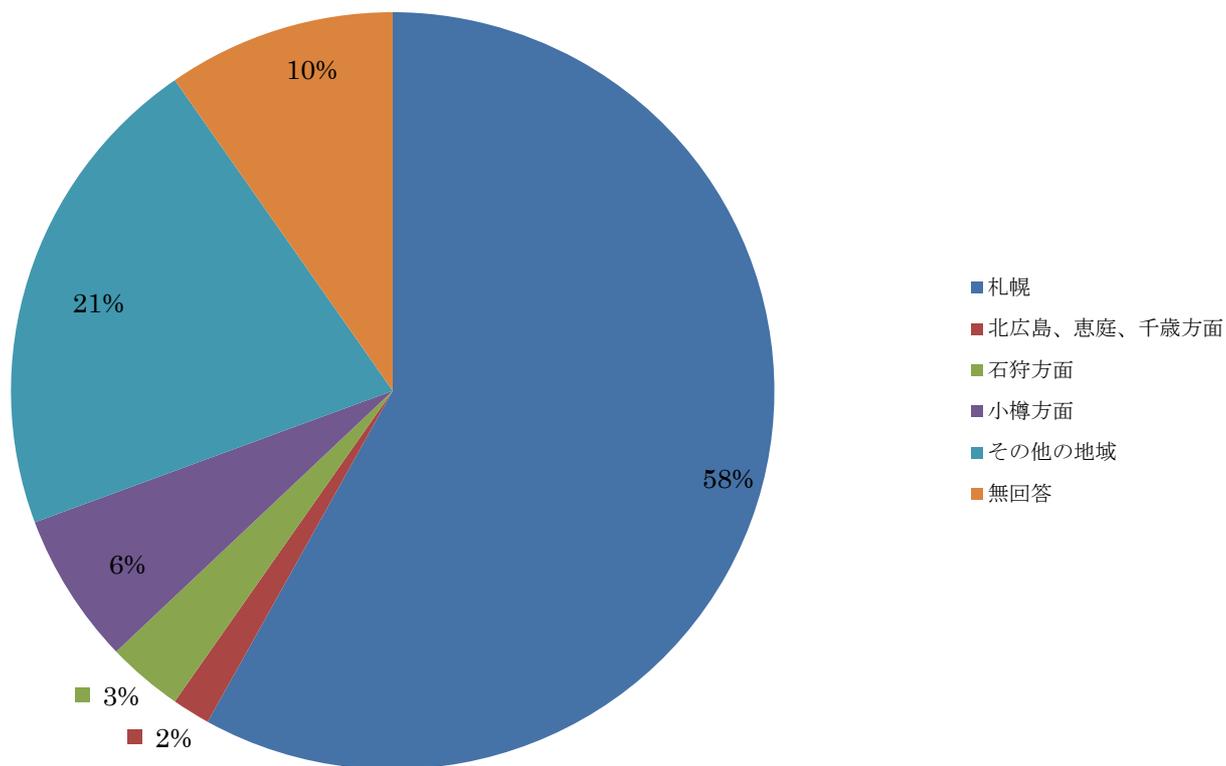
本シンポジウムを一番初めにどのようにして知りましたか



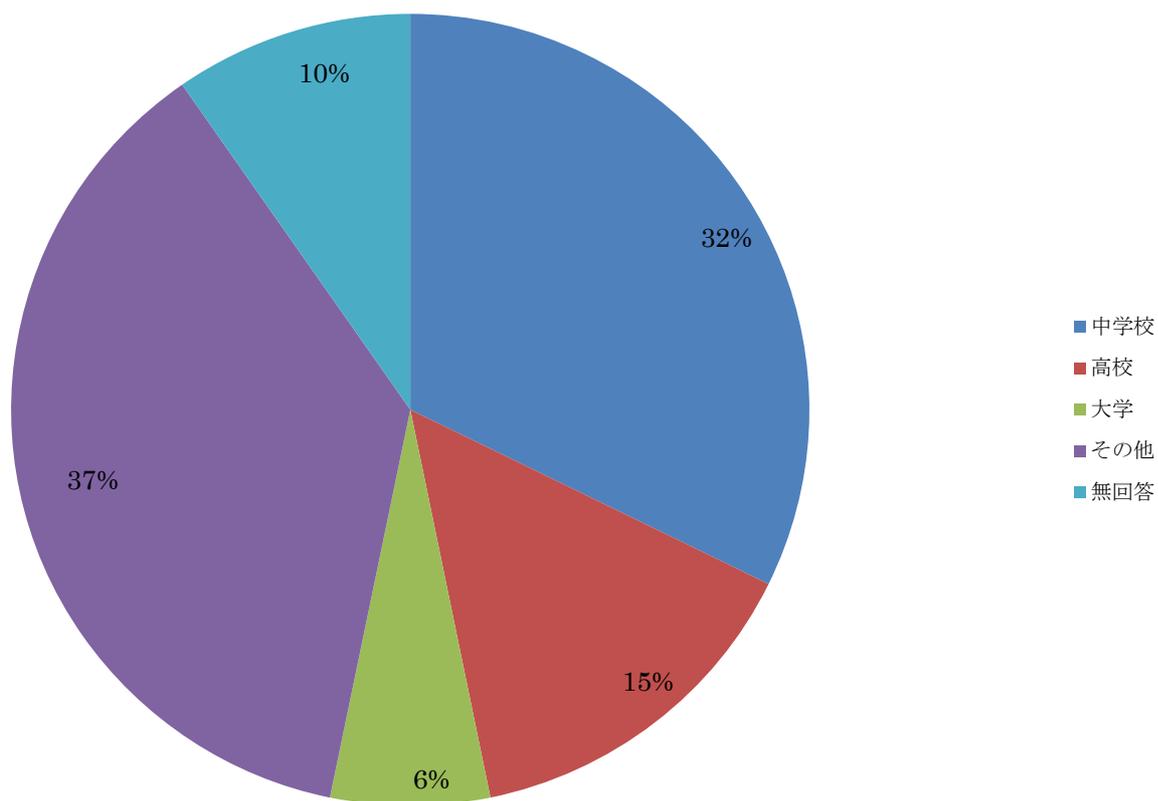
今後の聞いてみたいテーマを1つ選んでください



勤務校はどちらですか？



勤務校の校種はどちらですか？



シンポジウムの中で特に興味・関心をもった内容があればお聞かせください

- 授業の様子、進め方、効果
- 現場実践の内容
- 出前授業に興味があり、実際のものを見たい
- 教材について
- 自尊感情とストレスマネジメントを高めることが必要
- レジリエンス、ストレスマネジメント
- SOS の出し方教育について
- 色々な政策について学びました
- SC と自殺率の相関関係が大変興味深かった
- 教員向け GK 研修を受けてみたいと思いました。
- SEYLE 研究の結果説明と有効な介入方法について
- 専門家に任せるのではなくみんなで考えることが大切
- 効果を評価する方法を持ち PDCA をまわしていかなければならない
- 援助希救行動を教育するという考え方
- 特に吉川先生や上島先生の具体的な実践の内容について興味を持った
- 本橋先生の「予防」「エビデンス」のお話
- 阪中先生の話
- 自尊感情の低下は、吉川先生の調べから、小 5~6 年から見られている。なぜこの時期から自尊感情の低下が見られるのか。海外と日本の違いなどについて深く知りたいと思った
- 子どもの命を守る、子どもの心を育むという点では道徳教育は不可欠だと思っているのですが、道徳に触れていたのは上島先生だけでした。厚労省の管轄ということで切り口を変えているのでしょうか。
- 基調講演の中で「何をしてはいけないか、ではなく、何をしたら良いのかを共に考える」、まずはやってみることが大切という内容が心に残りました。SOS の出し方教育の中でレジリエンスは誰もが持っているし、さらに育てることもできることを伝えたい
- 文科省の施策と現場のニーズとのギャップを感じる。高額の SC の増員もいいがより現場での教員を助け、子どもの悩みに関わるスクールサポーターの増員に予算をかけることが実質効果があると思われました
- カウンセラーの数を増やしても自殺軽減につながっていないというショッキングな統計の結果。その分の予算を私は、学校教師の数を増やすこと、養護教諭を複数制にする等の方がサインを見つけられたり SOS 教育を行える余裕、取り組める余裕が生まれるのではないかと思う
- 受け止める大人社会の問題→実際に機能する、社会全体の連携体制をどう作っていくのかも課題と感じています

要望・感想などあればお聞かせください

- 時間が足りないのが残念
- シンポジストの先生方からのお話はどれも興味深かったので、最初の話提供の時間がもう少しあるといいと思った。
- シンポジストの方の話はもっと長く聞いていたいものでした。総括はもっと短くても良いと思います
- お一人お一人の話の時間が短く、もっとゆっくり聞きたかった。実践資料もいただけるか、パワポの資料が欲しいです。
- 今回の各先生のお話のスライド資料がネット等で見ることができると嬉しいと思います。(時間の問題で省略されていたところが見たいです)
- 全体的にスライドの字が小さく、読みにくかった。パワーポイントであれば、28ポイントくらいはないと後ろの方の人は見えません。
- 配布資料に具体例がもっとあればよかったです
- 多くの現場で研修の機会を待ち望んでおります。広くお知らせいただければ有り難いです
- こういう機会が多くあってほしいことと、今回の内容を参加できなかった人や知らなかった一般へのアナウンスが必要ではないか
- このような研修会をぜひ今後も定期的で開催していただき、実践交流もしていただけたらと思います
- ・会場が札幌駅周辺であったのでわかりやすくてよかった
 - 道が作成した3種類の指導資料が学校になかったり、教員が知らないという意見も聞き悲しくなりました(連携する際に)
 - シンポジウムはもっと時間を長くしてほしいです(早口となったり、まとめまでいけないのはとても残念でした)
- このようにシンポジウムで先生方のお話を聞く機会があることに感謝したい。命の教育プロジェクトと札幌や北海道の各学校での取り組みや研修が相互に関連しあい、互いに高めあっていたらと思った
- 教員の夏季、冬季休業中にあるとより多くの教育関係者に聞いてもらえると思いました。
- 多くの職種の方がお見えになっていたようです。横のつながりができるよう、シンポジウム講演会等ご案内を頂けると嬉しいです。
- 次回もあるといいと思いました。道内の実践のDVDを見てみたいです。
- SOSの出し方教育の研修をぜひ受けたい
- 学校での研修に使えるような内容でした
- 養護教諭の先生、SCなどの協働も検討されていくとありがたいと思いました
- 学校でもない家庭でもない地域の居場所づくりとして、サポートステーションがあります。それらの活用もしていただきたいと思っています。
- 自殺というシビアなトピックでしたが、温かい気持ちになるお話がたくさんありました。勉強になりましたし、社会にこういう人達がいるんだなという安心感も得られました。
- 学校現場でどのように自殺総合対策、命の教育に取り組んでいくか改めて考えさせられました。まずは仕事に追われている現実をどうにかしたいと思いつつ、できることから頑張っていきたいと思っています。

「命の教育」アンケート集計結果

- 子ども同士で心の調子を伝え合ったり支え合ったりする取組の重要性を改めて考えることができました。教育課程にどう計画していくかを学校全体で話し合うことが必要だと思いました。自殺防止教育に関する研修に参加するといつも関西弁の方々のお話が勉強になります。ありがとうございました
- 色々な分野の方のお話を聞かせていただけて良かったです。今回の内容を、業務、子育て、子どもが友人に悩みを打ち明けられた時の対応の仕方（ゲートキーパー）の話を子どもにも伝えたいと思います。参加できてよかったです。ありがとうございました
- 「命の教育」とは何かというところをもっと焦点化すると良かった。プレゼンは時間内できっちりできるように発表者は心がけなければならない。意見（論考）と根拠をもっと明確にしてもらいたかった。コントロール（＝呼吸法）のような狭い捉え方で良いのだろうか。呼吸法・コントロールだけで自殺者が減るとは思えない。ソーシャルスキルトレーニングについてもちょっと疑問である。ある特定の手法に捉われることなく広く実施していくことが公教育には必要ではないか
- 基調講演の内容はもっと時間を割き詳しくするべきだと思います。話題提供者や講師などなかなか集めることができないメンバーなのに、参加者が少なすぎると思います。周知方法を検討すべきです。よいことをやっても集まらなければ意味がないと思います。ちなみにシンポジウムはシンポジウムの体をなしていないのではないのでしょうか。全てにおいて時間が短すぎると思います。講師の実践等を生かし切れていないと思います。
- 会場についてですが、マイクが遠かったりエコーがかかっているような感じで、お話の細かい部分が少し聞き取りにくかったです
- 時間通告の方法を考えていただきたいです（チ～ン！はどうかと）。メモを渡すことでもよろしいのでは…
- お茶ごちそうさまでした

自殺総合対策における「命の教育」 参加アンケート

本日はお忙しい中、シンポジウムにご参加いただきありがとうございます。今後、さらにより良い企画を皆さんにお届けするために、以下のアンケートにお答えいただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

※選択肢のなかで一番当てはまるものを、該当番号を黒く(●)塗りつぶして下さい

① 全くそう思う ② 概ねそう思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 全く思わない

今日のシンポジウムについてお伺いします



- | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1. テーマ「自殺総合対策における『命の教育』」は適切だった | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 2. 基調講演の内容は興味深く、満足している | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 3. シンポジウムの内容は興味深く、満足している | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 4. 総括の内容は興味深く、満足している | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 5. シンポジウムの進め方は適切だった | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 6. 本シンポジウム全体の内容に満足している | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

今後のシンポジウムのためにいくつかお伺いします

- | | | | | | |
|-------------------------------|---|---|---|---|---|
| 7. 本シンポジウムを一番初めにどのようにして知りましたか | ① | ② | ③ | ④ | |
| ① 郵送チラシ ② 知人など紹介 ③ インターネット | | | | | |
| ④ その他 (_____) | | | | | |
| 8. 今後の聞いてみたいテーマを1つ選んでください | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| ① 子どもへの自殺総合対策 ② 「命の教育」実践 | | | | | |
| ③ レジリエンス ④ SOSの出し方教育 | | | | | |
| ⑤ その他 (_____) | | | | | |

皆様のご所属などについてお伺いします

- | | | | | | |
|---------------------------|---|---|---|---|---|
| 9. 勤務校はどちらですか？ | | | | | |
| ① 札幌 ② 北広島、恵庭、千歳方面 ③ 石狩方面 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| ④ 小樽方面 ⑤ その他の地域 | | | | | |
| 10. 勤務校の校種はどちらですか？ | ① | ② | ③ | ④ | |
| ① 中学校 ② 高校 ③ 大学 ④ その他 | | | | | |

14. シンポジウムの中で特に興味・関心をもった内容があればお聞かせください。

[_____]

15. 要望、感想等があればお聞かせください。

[_____]

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。